

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2016年1月1日 148号
世界平和地球村の建設と自然環境の保護

2016年迎春
平成二十八年

豊かな生命を育んで流れるパラグアイ川



その尊い礎の上にいよいよ希望の実体、福地建設のつち音高く響かせる時が来ました。出発してより二十年となる、二〇二〇年までの四年間、今まで流したすべての血と汗と涙を黄金の輝きに変える希望の時にしていきましょう。

老壯青みんなが知恵を出し合い考え方でし、新しい未来、福地建設の主人となつていきましょう。

二〇一六年元旦

一般社団法人
南北米福地開発協会

理事長 中田欣宏

新年あけましておめでとうございます。

昨年度はご支援心より感謝申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

福地建設をめざし、出発して十七年、この間想像を超えた厳しい自然環境のなかで、試行錯誤しつつも積み重ねてきた不屈の歩み、与えて忘れる、ために生きる精神と、万民を抱く人類一家族、眞の愛の心情で地域社会の絶大な信頼と国家の関心を獲得してまいりました。

誰一人訪ねることのない見捨てられたもつとも貧しい地レダに、家族を残し単身滞在し言葉にできないご苦労の数々を、何事もなかつたかのごとく受け入れ歩んでこられた皆様と、支え続けてこられたご家族、支援者の皆様の熱き思いに心より感謝申し上げます。



2015年レダ基地では



3年連続でパクーの人工孵化に成功。(1月)



5月8日、第三回パクー稚魚放流式を挙行。5万匹を放流しました。



洪水への恒久対策として堤防を建設。(5月)



北米から視察や奉仕活動に
次々と多才な人材が来園。



土地の境界にワイヤーを張った柵を設置する、重要な作業。



第15回国際協力青年奉仕隊は、バイア・ネグラの高校と病院で奉仕し、篤く感謝されました。(8月～9月)



2015年もパンタナールで若者たちが活躍しました。



11か国、36名から成る、国際色豊かなUPFの奉仕隊。メディアにも取り上げられ、多くの人々に感動を与えました。(7月)

